

《 記入例（一般猶予） 》

様式第14号(第21条関係)

償還猶予申請書			
宮城県教育委員会 殿			令和〇〇年〇〇月〇〇日
			奨学生番号 31900203456
本人	奨学生であったとき 在学していた学校名	宮城県〇〇〇〇高等学校	
	卒業(退学)年月	令和〇〇年3月 卒業 (退学)	
本人	フリガナ	ミヤギ タロウ	(〒980-8423) 電話番号(022)211-3716
	氏名	宮城 太郎	住所 仙台市青葉区本町3-8-1
保証人	フリガナ	ミヤギ イチロウ	(〒980-8423) 電話番号(022)211-3716
	氏名	宮城 一郎	住所 仙台市青葉区本町3-8-1
高等学校等育英奨学資金貸付条例第12条第()項の規定により、奨学資金の償還を猶予されたいので申請します。			
借用金額		648,000 円	
猶予申請期間		令和〇〇年〇〇月から令和〇〇年〇〇月まで (最長1年間とする。ただし、「1 在学中」の場合は、当該年度限りとする。)	
申請理由		理由コード番号	その他の場合の 具体的理由
理由コード		4	
理由発生年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日 (「1 在学中」の場合は、当該年度の4月1日とする。)	
同一理由による 過去の猶予期間		令和〇〇年〇〇月から令和〇〇年〇〇月まで	
添付書類		申立書、非課税証明書、健康保険証の写し	
本人が未成年者の場合には、親権者又は未成年後見人が下欄に自署すること。			
親権者等	氏名	宮城 一郎	本人との続柄 本人の(父)
	住所	(〒980-8423) 仙台市青葉区本町3-8-1	

高等学校等在学中に借用した総額です。

※ 償還残額ではありません。
この例は、公立高校自宅通学者(月額18,000円)が3年間(36月)奨学資金を借用した場合の額です。

一般猶予を受けようとする1年(12ヶ月)以内の期間。

下の理由コード2~7の該当するコードを記入。

猶予申請をする原因となった年月日を記入

一般猶予を受けていた過去の全期間を記入。

一般猶予申請の事由を証する書類

※申請事由により添付する書類が異なります。詳しくは高等学校等卒業(又は退学)時に配布した「償還の手引」の「償還猶予申請事由及び添付証明書等一覧」をご覧ください。